ボーリング柱状図

調　　査　　名　国道182号　道路災害防除事業（法面対策）に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	2	5	4	0	0	3

シートNo.　3

ボーリング名	A128B3	調査位置	広島県福山市加茂町外	北緯	34° 37′ 56.1500″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成29年 1月27日～平成29年 1月30日	東経	133° 18′ 42.7000″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 438.53m	角度	180° 上 下 0° 90° 50°	方向	77°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	56° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製D-0型	
ハンマー落下用具	半自動型				
総掘進長	9.00m		エンジン	ヤンマーNF80型	
ポンプ	東邦製BG-3型				

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位／測定月日	深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	438.34	0.30		表土	茶褐						吹き付けモルタル10cm 土砂～細礫～岩砕と状態が変化する。 漏水激しい									67	86／ケーシング	W／D	5	180	0	清水／3	2
1				風化粘板岩輝緑岩互層	淡茶緑	D	III	c	γ	2	全体的に変色している。 白色脈が多数存在し、しま模様を呈している。 脈の角度は、約85度程度である。 所々に石英脈が40～50度の角度で貫入しており、その周辺は礫状となる。 GL-1.6m：色調黒褐を挟む GL-1.9～2.1m区間：土砂を挟む GL-2.3～2.4m区間：漏水 GL-3.6～3.9m区間：ポンプ圧上昇 GL-4.3～4.4m区間：流入粘土有り	CL								1/27	67			1	150	0	清水／4	0
2																											
3																				45			5	180	0	清水／3	2
4	435.70	4.40																									
5				粘板岩	黒褐	C	III	b	β	1	比較的新鮮であるが亀裂が発達している。 亀裂角は、20度を呈しており白色脈の貫入角度とほぼ一致する。 亀裂面は部分的に変色が見れれる。 GL-5.2m以降：全漏水	CM							1/28	45			5	210	0	清水／3	2
6																				57	66／泥水	W／D	5	180	0	清水／2	2
7																				57			15	180	0	清水／3	0
8																				57			20	240	0	清水／4	0
9	432.75	9.00																	1/30								
10																											
11																											
12																											
13																											
14																											

コア採取率 ×（%）　最大コア長 ●cm　RQD ［%］

標尺 m	コア採取率	最大コア長	RQD
1	30	30	100
2	10	10	100
3	15	40	100
4	18	18	100
5	32	32	100
6	17	55	100
7	15	15	100
8	15	30	100
9	13	25	100